

再処理施設/廃棄物管理施設 設工認等申請計画

1. 新規基準 設工認申請計画

再処理施設本体(法第45条第2項に基づく申請)

No.	申請内容	主な審査内容	申請予定時期	優先度	ヒアリング回数	優先度の考え方
1	北換気筒耐震補強	【基本方針】建物・機器耐震, 竜巻基本方針 【内容】耐震, 竜巻評価	申請済み (2019年度第3Q 耐震基本方針追加, 竜巻評価補正)	S	10回	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針については, 今後申請する案件のうち優先度が高いものにまとめて申請する。 案件ごとの申請時期については, 返還廃棄物に係る申請を最優先として考え, 工事の時期, 工事物量, 作業環境条件を考慮して決定する。 審査項目が多岐にわたり審査回数が多くなると想定されるものについては, 早期に申請する。
10	設計基準 その1(ユーティリティ設備 廃棄物&MOX共用)	廃棄施設, MOX設備共用	2020年度第1Q	A	5回	
2	U・Pu混合酸化物貯蔵建屋 貯蔵ホール耐震補強	耐震評価	申請済み (2019年度第3Q 耐震基本方針削除補正)	A	5回	
8	精製建屋/U・Pu混合脱硝建屋 臨界対策(中性子吸収材敷設)	工事方法	2020年度第1Q	A	3回	
5	安全冷却水系冷却塔 耐震補強・竜巻防護対策	【基本方針】火山, 配管耐震, 耐圧強度, 航空機墜落火災影響, 環境条件基本方針 【内容】荷重強度, 耐震, 耐圧, 墜落火災, 竜巻評価および安重範囲		A	25回	
6	重大事故等対処設備(可搬設備含む)	【基本方針】環境条件評価 【内容】設備(臨界, 水素爆発, 蒸発乾固, 溶媒火災, TB P爆発, 漏えいおよび水供給, 電源, 計装, 放管等の共通設備)の仕様, 耐震, 耐圧, 環境条件評価	申請済み (2020年度第2Q 系統分離等追加補正)	A	25回	
3	火災対策設備(制御建屋, U脱硝建屋, U・Pu混合脱硝建屋, U・Pu混合酸化物貯蔵建屋, 第2非常用電源建屋)	系統分離, 3h耐火 他		B	10回	
13	前処理建屋 クレーン類/精製建屋, U・Pu混合脱硝建屋グローブボックス耐震補強	耐震評価	2020年度第2Q	B	10回	
4	第一ガラス固化体貯蔵建屋東棟 屋根トラス耐震補強工事	耐震評価	申請済み	B	5回	
7	緊急時対策新設工事/貯水槽・保管庫新設工事	建物および設備(換気, 電気等)の仕様, 耐震, 環境条件評価	2020年度第1Q	B	20回	
9	溢水・化学薬品漏えい対策	耐震, 耐圧, 溢水評価 対象:11建屋	2020年度第2Q	B	20回	
14	火災対策設備(先行5建屋以外)	系統分離, 3h耐火 他		C	10回	
15	主排気筒/屋外ダクト 竜巻防護対策	荷重強度, 耐震, 竜巻評価	2020年度第3Q	C	15回	
17	試薬建屋 薬品タンク地下化	工事方法	2020年度第3Q	C	3回	
16	設計基準 その2(電気設備, 計測制御, 放射線管理設備等)	設備の仕様(落雷対策), 耐震, 竜巻, 内部飛散物評価	2020年度第3Q	D	5回	
11	建物・洞道耐震評価	荷重強度, 耐震, 墜落火災影響, 竜巻評価	2020年度第2Q	D	15回	
12	機器・配管耐震評価	耐震評価		D	15回	

使用済燃料受入れ・貯蔵施設(法第45条第1項に基づく申請)

No.	申請内容	主な審査内容	申請予定時期	優先度	ヒアリング回数	優先度の考え方
1	北換気筒耐震補強	荷重強度, 耐震, 耐圧, 墜落火災影響, 竜巻評価および安重範囲	申請済み (2019年度第3Q 竜巻評価補正)	S	(10回)	<ul style="list-style-type: none"> 案件ごとの申請時期については, 返還廃棄物に係る申請を最優先として考え, 工事の時期, 工事物量, 作業環境条件を考慮して決定する。 審査項目が多岐にわたり審査回数が多くなると想定されるものについては, 早期に申請する。
5	設計基準 その1(ユーティリティ 廃棄物&MOX共用)	廃棄施設・MOX設備共用	2020年度第1Q	A	5回	
2	安全冷却水系冷却塔 耐震補強・竜巻防護対策	荷重強度, 耐震, 耐圧, 墜落火災影響, 竜巻評価および安重範囲		A	15回	
3	重大事故等対処設備(可搬設備含む)	設備(SF冷却)の仕様, 耐震, 耐圧, 環境条件評価	A	5回		
4	溢水・化学薬品漏えい対策	耐震, 耐圧, 溢水評価	B	10回		
7	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋 燃料取扱装置他 耐震補強	耐震評価	2020年度第3Q	C	10回	
6	火災対策設備	系統分離, 3h耐火 他	2020年度第2Q	C	5回	
8	建物・洞道耐震評価	荷重強度, 耐震, 墜落火災影響評価		D	5回	
9	機器・配管耐震評価	耐震評価		D	5回	
10	設計基準 その2(電気設備, 計測制御, 放射線管理設備等)	設備の仕様, 耐震, 竜巻, 内部飛散物評価	2020年度第3Q	D	5回	

第一ガラス固化体貯蔵建屋西棟(増設)

No.	申請内容	主な審査内容	申請予定時期	優先度	ヒアリング回数	優先度の考え方
追加	第一ガラス固化体貯蔵建屋西棟 屋根トラス耐震補強工事[法第45条第2項に基づく申請]	耐震評価	申請済み	B	5回	<ul style="list-style-type: none"> 案件ごとの申請時期については, 工事の時期, 工事物量, 作業環境条件を考慮して決定する。
追加	設計基準 その1(建物)[法第45条第2項に基づく申請]	荷重強度, 墜落火災影響評価	2020年度第2Q	D	5回	
追加	設計基準 その2(計測制御, 放射線管理施設, 換気設備等)[法第45条第1,2項に基づく申請]	設備の仕様, 耐震, 竜巻評価	検討中		5回	

廃棄物管理施設(法第51条の7第1項に基づく申請)

No.	申請内容	主な審査内容	申請予定時期	優先度	ヒアリング回数	優先度の考え方
1	北換気筒耐震補強	【基本方針】竜巻基本方針 【内容】耐震, 竜巻評価	申請済み (2019年度第3Q 竜巻評価補正)	S	(10回)	優先度は, 工事が発生するものを優先し, 設定している。
2	廃棄物管理施設 屋根トラス耐震補強工事	【基本方針】建物・機器耐震基本方針 【内容】耐震評価, 工事方法	申請済み	S	10回	
3	収納管・通風管, 放射能測定装置, その他設計基準(再処理共用含む)	耐震, 竜巻評価および再処理施設・MOX設備共用	2019年度第4Q	A	10回	
4	建物・洞道耐震評価	【基本方針】火山, 航空機墜落火災基本方針 【内容】荷重強度, 耐震, 墜落火災影響, 竜巻評価	2020年度第1Q	B	5回	
5	機器・配管耐震評価	耐震評価	2020年度第1Q	B	5回	
追加	UPS更新工事	工事の方法	申請済み			設備更新に伴う案件であることから, 一旦取り下げたうえで再度申請する予定

※ 設工認申請計画におけるNo.は2019年10月4日の面談資料における申請番号としている。

2. 新規制基準許可後の事業変更許可申請計画

再処理施設

	申請内容	主な審査内容	申請予定時期	優先度	審査会合回数	優先度の考え方
1	第3低レベル廃棄物貯蔵建屋 〔既申請案件であり、取り下げ・再申請予定〕	低レベル廃棄物貯蔵建屋の増設として第3低レベル廃棄物貯蔵建屋を新設する。	新規制基準許可後	A	12回	既存の低レベル廃棄物貯蔵建屋の貯蔵量及び貯蔵量推移を踏まえ、次回申請案件として設定。
2	有毒ガス影響評価	新規制基準の有毒ガスに対するガイド評価の結果を反映する。	新規制基準許可後	A	12回	有毒ガス影響評価ガイド(H29.5制定)の経過措置により、運転を開始する日までに適用させる必要があることから、次回申請案件にあわせて申請する計画としている。
3	常用UPS更新工事	設備更新のためUPSおよびBATの仕様変更を実施する(添付書類、電圧の変更)。	本文の変更を伴わないため、次回変更申請に合わせて申請	(A)	1回	—
4	DBP除去設備設置 他(検討中)	高レベル廃液の一つであるアルカリ廃液に含まれるDBPを除去するための設備を設置する。	2021年4月～	B	12回	ガラス溶融炉A系のリプレース時期にあわせて設置を計画しており、これを踏まえて優先度を設定。

廃棄物管理施設

	申請内容	主な審査内容	申請予定時期	優先度	審査会合回数	優先度の考え方
1	ガラス固化体受入建屋における低レベル廃棄物貯蔵量増容量〔既申請案件であり、取り下げ・再申請予定〕	貯蔵方法を変更し、低レベル廃棄物の貯蔵容量を拡大する。	新規制基準許可後	A	6回	低レベル廃棄物の貯蔵量確保の観点から、次回申請案件として設定。
2	ハル・低レベル廃棄物処理建屋、ハル等圧縮体貯蔵建屋、低レベル充填固化体貯蔵建屋の新増設	ハル・低レベル廃棄物処理建屋の増設を行う。これにあわせて、ハル等圧縮体貯蔵建屋、低レベル充填固化体貯蔵建屋を建設する。	2020年9月～	B	24回	操業により発生するハル・エンドピースの処理を行う建屋が必要となることから、次々回の申請案件として設定。
3	低レベル廃棄物の受入れ〔既申請案件であり、取り下げ・再申請予定〕	海外から返還される低レベル放射性廃棄物を受入れるため改造等を行う	(時期調整中)	S	—	(海外返還低レベル廃棄物の輸送時期調整中)

3. 保安規定申請計画

再処理施設及び廃棄物管理施設

	申請内容	申請予定時期
1	新検査制度	2020年4月
2	新規制基準対応	2020年度第3Q

※上記の他、軽微な変更を予定